

[ I ] 館 林 市 公 共 下 水 道 事 業 計 画 書

公共下水道管理者 館 林 市 長  
工事着手の予定年月日 昭和44年11月25日  
工事完成の予定年月日 令和 4年 3月31日  
令和 9年 3月31日

# 館 林 市 公 共 下 水 道 事 業 計 画 書

## 目 次

(第1表の1)	予定処理区域調書.....	i
(第1表の2)	予定排水区域調書.....	ii
(第3表の1)	吐口調書(汚水).....	iii
(第3表の2)	吐口調書(雨水).....	iii
(第4表の1)	管渠調書(汚水).....	v
(第4表の2)	管渠調書(雨水).....	vi
(第5表)	処理施設調書.....	ix
(第6表)	ポンプ施設調書(汚水).....	xi
(第7表)	貯留施設調書(雨水).....	xi

(第1表の1)

上段 変更前  
下段 変更後

予 定 処 理 区 域 調 書			
予定処理区域 の面積	約 1,149 約 1,166 ヘクタール	予定処理区域内 の地名	群馬県館林市 「区域は下水道計画一般図 表示のとおり」
処理区の名称	面 積 (単位ヘクタール)	摘 要	
館林処理区	約 1,149 約 1,166	分福地域し尿処理施設 (17.2ha) を統合する。	

※ただし、分福地域し尿処理施設の編入においては、同施設の財産処分承認後、下水道事業として接続工事等を実施する。

(第1表の2)

上段 変更前  
下段 変更後

予 定 排 水 区 域 調 書			
予定排水区域 の面積	約 1,149 約 1,158 ヘクタール	予定排水区域内 の地名	群馬県館林市 「区域は下水道計画一般図 表示のとおり」
排水区の名称	面 積 (単位ヘクタール)	摘 要	
多々良第2排水区	24		
仲伊谷田第1排水区	22 23		
仲伊谷田第2排水区 —	1 —		
仲伊谷田第3排水区	26		
仲伊谷田第4排水区	13		
加法師第1排水区	124		
加法師第2排水区	17		
伴木堀排水区	121		
鶴生田左岸第1排水区	108		
鶴生田左岸第2排水区	95		
鶴生田右岸第1排水区	83		
鶴生田右岸第2排水区	68		
鶴生田右岸第3排水区	15		
鶴生田放水路第1排水区	65		
鶴生田放水路上流排水区	16		
城沼排水区	78		
鶴生田下流排水区	24		
赤生田排水区	9		
蛇沼排水区	75		
茂林寺排水区	143 142		
宮田排水区	23 32		

(第3表の1)

上段 変更前  
下段 変更後

吐口調書 (汚水)							
処理区 の名称	主要な吐 口の種類	主要な吐口 の番号又は名称	主要な吐口 の位置	計画放流量	放流先 の名称	放流先 の水位	摘要
館 林 処理区	処理施設	館林市水質 管理センター 放水路	堀工町 字大島道東	(日最大量) <b>0.391m<sup>3</sup>/秒</b> 0.275m <sup>3</sup> /秒	谷田川	14.98m	
館 林 処理区	処理施設	—	上赤生田町 字間堀	(日最大量) 0.012m <sup>3</sup> /秒	親水利用	—	1,000 m <sup>3</sup> /日

(第3表の2)

上段 変更前  
下段 変更後

吐口調書 (雨水)							
排水区 の名称	主要な吐 口の種類	主要な吐口 の番号又は 名称	主要な吐口 の位置	計画放流量	放流先 の名称	放流先 の水位	摘要
多々良第2 排水区	分流式 雨水管渠	多々良 1号吐口	日向町 日向町 字内谷	<b>5.728m<sup>3</sup>/秒</b> 5.687m <sup>3</sup> /秒	日向幹線 排水路	21.10m	
仲伊谷田 第1排水区	分流式 雨水管渠	仲伊谷田 1号吐口	高根町 高根町 字山神裏	<b>3.790m<sup>3</sup>/秒</b> 3.902m <sup>3</sup> /秒	仲伊谷田 承水溝	22.20m	
仲伊谷田 第3排水区	分流式 雨水管渠	仲伊谷田 3号吐口	下早川田町 字北蓮河原	<b>9.540m<sup>3</sup>/秒</b> 9.051m <sup>3</sup> /秒	仲伊谷田 承水溝	18.60m	
加法師 第1排水区	分流式 雨水管渠	加法師 1号吐口	坂下町 坂下町 字八形	<b>12.470m<sup>3</sup>/秒</b> 11.428m <sup>3</sup> /秒	加法師川	19.33m	
加法師 第1排水区	分流式 雨水管渠	加法師 3号吐口	広内町	2.750m <sup>3</sup> /秒	加法師川	19.50m	
伴木堀 排水区	分流式 雨水管渠	伴木堀 1号吐口	尾曳町	<b>15.578m<sup>3</sup>/秒</b> 15.184m <sup>3</sup> /秒	加法師川	17.59m	
城沼排水区	分流式 雨水管渠	城沼 1号吐口	城町	<b>1.953m<sup>3</sup>/秒</b> 1.892m <sup>3</sup> /秒	鶴生田川	16.75m	
城沼排水区	分流式 雨水管渠	城沼 2号吐口	尾曳町	<b>2.486m<sup>3</sup>/秒</b> 2.390m <sup>3</sup> /秒	鶴生田川	16.40m	
蛇沼排水区	分流式 雨水管渠	蛇沼 1号吐口	上赤生田 字間堀 南美園町	<b>9.639m<sup>3</sup>/秒</b> 9.318m <sup>3</sup> /秒	蛇沼川	19.27m	

上段 変更前  
下段 変更後

排水区 の名称	主要な吐 口の種類	主要な吐口 の番号又は 名称	主要な吐口 の位置	計画放流量	放流先 の名称	放流先の 水位	摘要
鶴生田左岸 第1排水区	分流式 雨水管渠	鶴生田左岸 1号吐口	栄町	4.699m <sup>3</sup> /秒 4.647m <sup>3</sup> /秒	鶴生田川	18.84m	
鶴生田左岸 第1排水区	分流式 雨水管渠	鶴生田左岸 2号吐口	栄町 千代田町	4.706m <sup>3</sup> /秒 4.183m <sup>3</sup> /秒	鶴生田川	17.74m	
鶴生田左岸 第2排水区	分流式 雨水管渠	鶴生田左岸 4号吐口	成島町 成島町 字諏訪南	14.959m <sup>3</sup> /秒 12.062m <sup>3</sup> /秒	鶴生田川	21.30m	
鶴生田放水路 上流排水区	分流式 雨水管渠	鶴生田左岸 5号吐口	成島町 成島町 字諏訪南	6.915m <sup>3</sup> /秒 5.218m <sup>3</sup> /秒	鶴生田川	22.20m	
鶴生田右岸 第2排水区	分流式 雨水管渠	鶴生田右岸 1号吐口	成島町 栄町	6.915m <sup>3</sup> /秒 9.398m <sup>3</sup> /秒	鶴生田川	18.44m	
茂林寺 排水区	分流式 雨水管渠	茂林寺 1号吐口	西美園町	3.905m <sup>3</sup> /秒 3.799m <sup>3</sup> /秒	茂林寺川	18.23m	
茂林寺 排水区	分流式 雨水管渠	茂林寺 2号吐口	美園町	4.015m <sup>3</sup> /秒 3.860m <sup>3</sup> /秒	茂林寺川	18.50m	
宮田排水区	分流式 雨水管渠	宮田 1号吐口	分福町	14.976m <sup>3</sup> /秒 10.811m <sup>3</sup> /秒	宮田川	16.89m	
鶴生田放水路 第1排水区	分流式 雨水管渠	近藤 1号吐口	近藤町 近藤町 字小袋	8.758m <sup>3</sup> /秒 8.800m <sup>3</sup> /秒	近藤川	18.50m	

(第4表の1)

上段 変更前  
下段 変更後

管 渠 調 書 (汚 水)				
処理区の名称	主要な管渠の 内のり寸法 (単位 ミリメートル)	延 長 (単位 メートル)	点検箇所 の数	摘 要
館 林 処 理 区	⊙ 150 ~ ⊙ 1,650	33,470 31,990	3 箇所 54 箇所	方法：マンホール 内からの管内目視 頻度：5年に1回
	□ 1,260×1,260 □ 1,000×1,400 ~ □ 1,260×1,260	20		
	—	—		
	└┘ 1,650×1,650	20		
合 計		33,490 32,030	3 箇所 54 箇所	



(第4表の2)

上段 変更前  
下段 変更後

管 渠 調 書 ( 雨 水 )				
排水区の名称	主要な管渠の 内のり寸法 (単位 ミリメートル)	延 長 (単位 メートル)	点検箇所 の数	摘 要
仲伊谷田 第3排水区	□ 3,200×1,700～ □ 3,800×1,700	1,350 1,380		
	小 計	1,350 1,380		
加法師 第1排水区	┌┐1,500×1,100～ └┘5,200×1,200 ┌┐1,600×1,100～ └┘5,200×1,200	1,980 1,760		
	— □ 2,400×1,200～ □ 2,400×1,300	— 10		
	小 計	1,980 1,770		
伴木堀排水区	┌┐2,700×1,900～ └┘4,500×2,800 ┌┐2,800×1,300～ └┘4,500×2,800	960 1,140		
	□ 1,700×800～ □ 3,200×1,600 □ 2,200×1,000～ □ 3,200×1,600	1,220 1,110		
	小 計	2,180 2,250		
城沼排水区	┌┐1,600×1,000～ └┘1,600×1,100 ┌┐1,600×1,100	290 280		
	小 計	290 280		
蛇沼排水区	┌┐2,000×2,000 —	100 —		
	□ 1,500×1,500～ □ 2,500×2,500	700 790		
	小 計	800 790		



管 渠 調 書 ( 雨 水 )				
排水区の名称	主要な管渠の 内のり寸法 (単位ミリメートル)	延 長 (単位メートル)	点検箇所 の数	摘 要
茂林寺排水区	□ 1,900×1,900～ □ 2,200×1,000	330 340		
	小 計	330 340		
鶴生田左岸 第1排水区	⊙ 1,650	40	— 2箇所	方法：マンホ ール内からの 管内目視 頻度：5年以 内に1回
	□ 1,400×2,000～ □ 2,000×1,700 □ 1,000×1,800～ □ 2,000×1,700	580 770		
	— ┌┐ 1,400×1,600～ └┘ 1,600×1,600	— 170		
	小 計	620 980	— 2箇所	
鶴生田左岸 第2排水区	□ 1,700×1,700～ □ 3,200×2,500 □ 1,700×1,700～ □ 2,800×2,500	2,340 2,330		
	小 計	2,340 2,330		
鶴生田右岸 第2排水区	□ 1,400×1,200～ □ 2,600×1,600 □ 1,400×1,200～ □ 1,900×1,600	850 830		
	小 計	850 830		
鶴生田放水路 上流排水区	□ 1,600×1,600～ □ 2,300×2,300 □ 1,600×1,600～ □ 2,000×2,000	1,410		
	小 計	1,410		
宮田排水区	┌┐ 1,500×1,500～ └┘ 5,300×1,500 ┌┐ 1,000×1,000～ └┘ 3,900×1,500	2,570 2,600		
	— ┌┐ 2,100×1,500	— 180		
	小 計	2,570 2,780		

上段 変更前  
下段 変更後

管 渠 調 書 ( 雨 水 )				
排水区の名称	主要な管渠の 内のり寸法 (単位ミリメートル)	延 長 (単位メートル)	点検箇所 の数	摘 要
多々良 第2排水区	□ 1,500×1,500～ □ 1,900×1,900	710 670		
	— □ 1,900×1,900	— 50		
	小 計	710 720		
仲伊谷田 第1排水区	□ 1,900×1,300 □ 2,000×1,300	170 180		
	小 計	170 180		
鶴生田放水路 第1排水区	□ 1,500×1,500～ □ 1,900×1,900 □ 1,500×1,500～ □ 2,000×2,000	810		
	小 計	810		
合 計		16,410 17,270	— 2箇所	

(第5表)

上段 変更前  
下段 変更後

処 理 施 設 調 書								
終末処理場等の名称	位 置	敷地面積 (単位ヘクタール)	計画放流 水 質	処理方法	処理能力		計 画 処理人口 (単位 人)	摘 要
					晴天日最大 (単位立方メートル)	雨天日最大 (単位立方メートル)		
館 林 市 水質管理 センター	館 林 市 堀工町 888 番地 館 林 市 堀工町 字道堀	5.2	BOD 15mg/L	標準活性 汚 泥 法	23,170	—	41,460 41,680	計画下水量 (日最大) 20,650m <sup>3</sup> /日 17,520m <sup>3</sup> /日  流入水質 BOD 200 mg/L 240 mg/L S S 155 mg/L 180 mg/L  館林市水質管理センターへの 汚水受入に伴い分福地域 し尿処理施設 を廃止する。
終末処理場等の敷地内の主要な施設								
終末処理場等の 名称	主要な施設の名称	個数	構 造	能 力	摘 要			
館 林 市 水 質 管 理 セ ン タ ー	流入管渠	1 式	鉄筋コンクリート造り	満管流量 2.232m <sup>3</sup> /秒				
	沈砂池	2 池	鉄筋コンクリート造り	水面積負荷 1,800 m <sup>3</sup> /m <sup>2</sup> ・日				
	主ポンプ	3 台	汚水ポンプ	揚水量 22.5 m <sup>3</sup> /分 22.5 m <sup>3</sup> /分×2 台 21.6 m <sup>3</sup> /分×1 台	3/3			
	最初沈殿池	8 池	鉄筋コンクリート造り	水面積負荷 50 m <sup>3</sup> /m <sup>2</sup> ・日	8/8			
	反応タンク	4 池	鉄筋コンクリート造り	滞留時間 8 時間	4/6 4/5			
	最終沈殿池	8 池	鉄筋コンクリート造り	水面積負荷 20 m <sup>3</sup> /m <sup>2</sup> ・日	8/12 8/10			
	塩素混和池	1 池	鉄筋コンクリート造り	接触時間 15 分以上				
	放流渠	1 式	鉄筋コンクリート造り	満管流量 2.201m <sup>3</sup> /秒				
	放流管	1 式		流量 約 1,000m <sup>3</sup> /日	親水用水			

終末処理場等の敷地内の主要な施設					
終末処理場等の名称	主要な施設の名称	個数	構造	能力	摘要
館林市水質管理センター	送風機	3台	歯車増速式単段プロワ	風量 約70m <sup>3</sup> /分	3/3
	汚泥濃縮機	1台		30m <sup>3</sup> /日	1/2
	汚泥脱水機	2台	機械式脱水機	540kgDS/h・台 600kgDS/h・台	2/2
	汚泥貯留槽	1槽	鉄筋コンクリート造り		旧汚泥濃縮タンク
	汚泥貯留槽	1槽	鉄筋コンクリート造り		旧汚泥消化タンク
	推肥化施設	2槽	鉄筋コンクリート造り	ろ布幅 約3m	2/3
	焼却炉	1基	流動焼却炉	処理量 約8t/日	1/2
	親水用水施設	1式	急速ろ過、オゾン酸化塩素消毒	約1,000m <sup>3</sup> /日	
	管理本館	1棟	鉄筋コンクリート造り	管理制御室、電気室、事務室、発電機室、ボイラ室 管理制御室、電気室、事務室、発電機室、水質試験室	
	水質試験室	1棟	鉄筋コンクリート造り		
	工作室	1棟	鉄筋コンクリート造り		旧プロワ室
	器材庫	1棟 2棟	鉄筋コンクリート造り		旧脱水機室 旧脱水機室 旧水質試験室
	機械棟	1棟	鉄筋コンクリート造り	脱水機室、機械濃縮室、プロワ室、電気室、沈砂ポンプ室	
	焼却炉棟	1棟	鉄骨造り	焼却炉室、電気室	
	受変電設備	1式			
自家発電設備	1式	ガスタービンエンジン	容量 1,000KVA 625KVA		

(第6表)

上段 変更前  
下段 変更後

ポンプ施設調書（汚水）						
ポンプ施設 の名称	処理区 の名称	ポンプ施設 の位置	敷地面積 (単位 ヘクタール)	1分間の揚水量 (単位 立方メートル)		摘要
				晴天時 最大	雨天時 最大	
館 林 市 尾 曳 汚 水 中 継 ポンプ場	館林処理区	尾曳町	0.136	4.12 3.47	—	
館 林 市 高 根 汚 水 中 継 ポンプ場	館林処理区	高根町 高根町字入ノ谷	0.117	1.07 0.88	—	
ポンプ施設の敷地内の主要な施設						
ポンプ施設 の名称	主要な施設 の名称	数	構 造	能 力	摘要	
館 林 市 尾 曳 汚 水 中 継 ポンプ場	沈砂池	2 池	鉄筋コンクリート造り	水面積負荷 約 1,800m <sup>3</sup> /m <sup>2</sup> ・日		
	汚水ポンプ	1 台	水中汚水ポンプ	4.0m <sup>3</sup> /分		
		1 台	水中汚水ポンプ	6.0m <sup>3</sup> /分		
	上屋	1 棟	鉄筋コンクリート造り	沈砂池室、ポンプ 室、自家発電機室		
館 林 市 高 根 汚 水 中 継 ポンプ場	汚水ポンプ	2 台	水中汚水ポンプ	1.6m <sup>3</sup> /分		
	上屋	1 棟	鉄筋コンクリート造り	ポンプ室 自家発電機室		

(第7表)

貯留施設調書（雨水）				
排水区 の名称	主要な貯留施設 の名称	主要な貯留施設 の位置	貯留能力 (単位立法メートル)	摘 要
鶴生田右岸 第1排水区	館林市城沼 雨水調整池	松原一丁目	1,000	浸水対策

6. その他の書類

6.1 施設の設置及び機能の維持に関する中長期的な方針

(1) 施設の設置に関する方針（様式 1）

主要な施策	整備水準				事業の 重点化・効率化 の方針	中期目標 を達成す るための 主要な 事業	備考
	指標等	現在 (R2 年度末)	中期 目標 (R8 年度末)	長期 目標 (R22 年度末)			
汚水処理	下水道処理人口 普及率	48.7%	50.4%	76.6%	令和 3 年度に全体 計画区域を縮小 し、早期汚水処理 の概成を図る。整 備効率を勘案し整 備を実施する。	未供用地区 の管渠整備 事業	
浸水対策	幹線整備率 (整備水準 : 5 年確率)	64.2%	65.5%	100.0%	既存水路等のスト ックを活用し、効 率的な整備を図 る。	—	
汚泥の 再生利用	有効利用された 割合	100%	100%	100%	汚泥を焼却後、セ メント原燃料化を 図る。		現在は、脱 水汚泥を委 託によりセ メント材料
耐水化	水害時における機能確保率	処理場	揚水機能が 確保された 施設数 : 4	今後、耐水化計画を 策定予定	対策が必要な施 設、設備に対し、設 備の高所移動、設 備自体の耐水化、 防護壁の設置、開 口部の防水化等の 対策を適切に選定 し、効率的・効果的 に対策を進めるた め、対策の必要性 及び実施方針を検 討し、耐水化計画 を策定する。		対策浸水深  利根川の中 高頻度想定 浸水深（検 討中）に基 づく
		沈殿機能が 確保された 水処理系列 数 : 4					
		汚泥処理機 能が確保さ れた施設数 : 0					
		ポンプ場	揚水機能が 確保された 施設数 : 2				
耐震化	災害時における機能確保率	重要な幹線等	21%	21%	100%	下水処理場及びポ ンプ場において は、揚水機能・沈 殿機能及び消毒機 能を有する施設に 対し R4 年度に耐 震診断に着手す る。対策が必要な 施設を把握、優先 度を検討し、耐震 化対策を検討す る。	
		下水処理場	20%	20%	100%		
		ポンプ場	50%	50%	100%		

(2) 施設の機能の維持に関する方針（様式 2）

a) 主要な施設に係る主な措置

i) 劣化・損傷を把握するための点検・調査の計画

主要な施設	点検・調査の頻度
管渠施設	一般環境下における重要施設では、1回/20年の頻度で調査を実施し、その他施設では1回/20年の頻度で点検を実施する。点検の結果、異常の可能性のある箇所についてテレビカメラ等による調査を実施する。 ただし、腐食環境下及び軌道横断施設においては1回/5年の頻度で点検を実施する。
汚水・雨水ポンプ施設 (ポンプ本体)	1回/5年～15年の頻度で調査を実施する。
水処理施設 (機械式エアレーション装置)	1回/5年～20年の頻度で調査を実施する。
汚泥処理施設 (汚泥脱水機)	1回/10年の頻度で調査を実施する。

ii) 診断結果を踏まえた修繕・改築の判断基準

主要な施設	修繕・改築の判断基準
管渠施設	腐食環境下、軌道横断施設及び重要施設では、緊急度がⅠ、Ⅱのものを修繕・改築対象とする。その他施設では、緊急度がⅠのものを修繕・改築対象とする。
汚水・雨水ポンプ施設 (ポンプ本体)	健全度 2 以下に該当する設備を修繕・改築対象とする。
水処理施設 (機械式エアレーション装置)	健全度 2 以下に該当する設備を修繕・改築対象とする。
汚泥処理施設 (汚泥脱水機)	健全度 2 以下に該当する設備を修繕・改築対象とする。



iii) 改築事業の概要（令和 3 年度～令和 8 年度）

主要な施設	改築事業の概要
管渠施設	管渠施設 4,640m の改築
汚水・雨水 ポンプ施設 (ポンプ本体)	該当なし
水処理施設 (機械式エアレ ーション装置)	該当なし
汚泥処理施設 (汚泥脱水機)	該当なし

b) 施設の長期的な改築の需要見通し

改築の需要見通し (年当りの概ねの事業規模の試算)	試算年次	試算の前提条件
管路：年当たり概ね 300 百万円 処理場・ポンプ場 ：年当たり概ね 296～446 百万円	概ね 50 年後	<b>【管渠施設】</b> 点検調査計画の優先順位に 基づき、重要施設は緊急度 I・II を、その他の施設は緊 急度 I を改築 <b>【処理場・ポンプ場】</b> R12 年度までは 296 百万円/ 年、R13 年度以降は 446 百万 円/年の予算制約で改築

## 6.2 財政計画書

(様式3)

単位:百万円

年度	イ. 経費の部								
	建設費					起債元利償還費	維持管理費	その他	合計
	管渠	ポンプ場	処理場	計	うち用地費				
令和2年 まで	28,027	2,325	11,330	41,682	269	30,250	12,638	-	84,570
	27,978	2,142	11,300	41,420	271	31,622	13,572	-	86,614
令和3年	320	70	36	426		599	383	-	1,408
	433	-	307	740		490	399	-	1,629
令和4年	510	-	197	707		438	407	-	1,552
令和5年	438	28	374	840		406	319	-	1,565
令和6年	451	-	147	598		398	318	-	1,314
令和7年	445	30	482	957		403	317	-	1,677
令和8年	464	69	326	859		404	315	-	1,578
計	28,347	2,395	11,366	42,108	269	32,894	14,170	-	89,172
	30,719	2,269	13,133	46,121	271	34,161	15,647	0	95,929

単位:百万円

年度	ロ. 財源の部											
	建設改良費							維持管理費及び起債元利償還費				合計
	国費	起債	市費	受益者負担金	都市計画税	その他	計	下水道使用料	市費	その他	計	
令和2年 まで	14,739	22,588	2,302	2,053	-	-	41,682	15,762	27,126	0	42,888	84,570
	14,618	22,467	2,286	2,049	-	-	41,420	17,569	27,625	-	45,194	86,614
令和3年	162	209	37	18	-	-	426	638	344	-	982	1,408
	315	337	74	14	-	-	740	633	256	-	889	1,629
令和4年	293	319	88	7	-	-	707	636	209	-	845	1,552
令和5年	368	430	25	17	-	-	840	641	84	-	725	1,565
令和6年	232	336	13	17	-	-	598	638	78	-	716	1,314
令和7年	431	479	30	17	-	-	957	635	85	-	720	1,677
令和8年	373	444	25	17	-	-	859	633	86	-	719	1,578
計	14,901	22,797	2,339	2,071	-	-	42,108	18,314	28,750	0	47,064	89,172
	16,630	24,812	2,541	2,138	-	-	46,121	21,385	28,423	0	49,808	95,929
下水道使用料関連事項	接続率:	90%(R2年度)→95%(R8年度:最終年度)										
	講じる対策	未接続世帯に対し、お知らせ版配布や戸別訪問等による啓発活動を行い、接続率の向上に努める。										
	有収率:	68%(R2年度)→70%(R8年度:最終年度)※要更新										
	講じる対策	有収率の向上を目指し、不明水対策を検討する。										
その他講じる対策	徴収対策として、未納分の徴収強化に努める。											